

藩営前橋製糸所のジオラマが完成しました

1 概要

日本で最初の洋式器械製糸工場である藩営前橋製糸所は、建物が残存しないため、世界遺産・富岡製糸場の影に隠れる存在でしたが、前橋市が実施する「生糸のまち前橋発信事業」及び「シルク・サミットin前橋」を通じて、その重要性が見直され始めています。

令和2年は藩営前橋製糸所創業150周年に当たるため、藩営前橋製糸所を全国に発信する契機とすべく、平成30年からジオラマ作成に向けた取り組みを開始しました。このたび「ぐんま食と歴史文化財団」の協力のもと、前橋市が所有する写真データに基づくジオラマが完成しましたので、各イベントの開催に合わせて公開します。

2 目的・意義

前橋市では、今年度から歴史文化遺産活用に関する調査研究成果を利活用し、歴史的風致維持向上計画の策定を進めています。藩営前橋製糸所は、「生糸のまち前橋」の礎を築いた重要な歴史遺産です。当該ジオラマは、今後の歴史まちづくりの中で活用します。

3 公開日時・会場

(1) 9月27日(日)「歴史まちづくりシンポジウム」(前橋市共催)

会場：中央公民館ホール(本町2-12-1)

(2) 11月1日(日)～30日(火)

藩営前橋製糸所創業150周年イベント

「藩営前橋製糸所創業150年記念 まえばしシルクスタンプラリー2020」

会場：アーツ前橋(千代田町5-1-16)

4 ジオラマ概要

写真中央の建物だけのジオラマです。

・写真は明治11年撮影

・大きさ

奥行き230×幅160×高さ200mm



【写真提供 宮内庁書陵部】

担当 都市計画課 景観歴史まちづくり係

電話 027-898-6974